とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	全てに差別のない対応するよう社内体制を整備している。 ・障害、LGBT、女性のキャリア、高齢者など多様性を尊重した雇用と環境整備や取組を実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	全てのハラスメントに関わる社内対応が整備されている。また、発生させないための教育研修や、課題対応も同様に実施している。 ・体制、相談窓口、発生時の対応フローもできている。 ・研修：ハラスメント、コミュニケーション、アンガーマネジメント					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			○	基本	健康を基軸とし、労働基準に準拠した体制がとられている。 労働時間、休日、仕事から仕事のインターバル時間の確保など具体的に対応している。 ・健康経営ホワイト500取得								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	日本人、外国人関係なく平等な採用と、同じ雇用条件で対応している。 ・毎年3～4名の採用を実施し、生活環境にも関与し、長く働くことを前提に対応している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	作業中の事故ゼロを目指した取組みや、労働環境を良くして労働負傷者を出さない取組を展開中。 工場内エアコン、腰痛防止ツール、安全作業の工程マニュアルの整備など			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○		基本	メンタル不調者を出さないことを第一に、不調者が出た場合の対応を整備している。 ストレスチェック実施率100%。 方針と社内体制を構築・管理者向け研修の実施・休職者の復帰プログラムの整備			3														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	・多様な人材が差別なく、気持ちよく働ける環境を整える体制を整備している。 ・女性(ママを含む)、外国人、障害者、高齢者、LGBTなど。 登録：「いい仕事、いい家庭つぎつぎ栃木」、「男女生き活き企業」 表彰：20年度「男女生き活き企業」 ・「社内のアライ」への対応として「誰でもトイレ」の設置 ・「カルフルとちぎ」協賛支援					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用	・健康経営優良法人 大規模法人部門「ホワイト500」経済産業省 2019年、2020年認定取得、2020年度2328社中上位10%以内の評価 ・スポーツエールカンパニー認定。 ・県内の小学生を対象とした「DOSAスポーツ能力測定会」を2018年、2019年に実施。			3					8									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用	2016年栃木トヨタ人事体系プログラム(人事制度)を導入 会社の基本理念からなる会社方針と社是、社訓をもとに資格、評価、報酬、教育を連動させ、人材に合わせたステップアップPGで進めている。				4				8	9								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用	社員区分ガイドラインを策定し均衡・均等の原則のもと公正に対応している。 就業条件、処遇を細分化し正社員、契約社員の不合理な待遇差をなくしている。								8.5		10.2 10.3							
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	当社の環境経営システムのエコアクション環境方針に則り、環境負荷低減に積極的に取り組んでいる。 ゴミを出さない、出たゴミの適正な分別、適正な排出を徹底する。 年度ごとの排出目標を掲げ、達成に向けた取組みを徹底している。											11.6	12.3 12.4 12.5		14.1			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	№11同様。 主に二酸化炭素削減に関する項目(電気、ガソリン、ガス)の前年差▲1.5%の目標に取組んでいる。 また、水力発電の電気供給「とちぎふるさと電気」を購入使用している。							7.3					13				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	・排出量削減のため取組みとして、室内や工場の設定温度を下げ、ウォームビィズに取組み、LED照明へ切換えている。 ・社用車をエコカー車(ハイブリット)を導入している。 ・太陽光発電機の導入。岩曽店、矢板店 ・「COOL CHOICEとちぎ」協賛							7.2 7.3					12.4	13.3				

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
14	環境	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	鈑金修理工場で使用する、有機溶剤を水性溶剤に変更し貢献。また、調合機 を導入しムダな試し塗りを廃止し使用量削減に取組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	生態系への配慮を考え、古い車の代替えや環境車エコカー販売、オイル交換5,000kmを強力に推進し、事業計画に織り込んで進めている。						6.6									15		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用	・低騒音で節水型洗車機(６３㍑/回→32㍑/回)、温水スチームの導入に より▲45%の使用料削減に取組んでいる。 ・エコアクションにて油水分離層の管理徹底し、緊急事態想定訓練を定期的 に実施し万全な体制を構築している。 可能な店舗は、井戸水の活用をしている。LEXUS店、泉が丘店						6.4 6.6											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用	№11同様、当社の環境経営システムのエコアクション環境方針に則り、環境負荷低減に積極的 に取り組んでいる。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用	毎年9月更新で「エコアクション 環境レポート」を作成し取組み実績を開示している。												12.6					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用	新築の営業店舗で「太陽光発電」設備を採用している。岩曽店、矢板店 また、水力発電の「とちぎふるさと電気」を購入している。							7.2						13				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用	社内で購入する、備品、設備機器、ツールなどグリーン購入法に該当するエコマーク付きの商 品を購入している。												12.2	13	14	15		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用	3Rの徹底を図り、ゴミ量そのものを減らす工夫、細かなごみ分別を徹底した取組みを全社で実 施している。プラスチックストローから紙製ストローに、お客様への飲み物提供は紙パック製 品に変更し貢献。プラゴミ、焼却ゴミを減らす取り組みを強化中。						6.3					11.6	12 12.5	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	当社は「CSR基本方針」をHPなどに掲げ、全てのステークホルダーを重視した事業活動を行 い、地域環境、地域社会の持続可能な発展に貢献している。 上記内容は、定期的に社員教育と事例の共有を図っている。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	上記NO22同様																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	特許、商標などの事案が発生した際、弁理士またはリーガルチェックを必ず実施し、適切な対 応に努めてる。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本	メーカー、業界指導のもと「プライバシーポリシー」を公開し、広く個人情報保護の重要性を 認識し社内対応を図っている。定期的なeラーニングで教育を徹底している。 今後は、全ての情報対応に着手を検討。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用	当社の主たる事業は販売、サービス業であることから対象外である。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用	全てに最適であり管理された製品を仕入販売する事業であるため問題ない。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	5Sの徹底、サービスオペレーションを確立し、技術コンクールなどで一層のサービス品質を高 めている。			3.9									12.4					

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																	
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	サービス	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している			○	基本	万全な品質保証と、適正な品質を保ったメンテナンスサービスパッケージなど高品質なサービスを提供している。また、整備後1か月のアフターフォローを漏れなく行い、お客様満足の高いサービスを徹底している。									9								
30	製品・サービス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○		○	応用	配慮された製品を仕入販売しており問題ない。					6							12	13	14	15		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用	ハイブリッド車、水素燃料車、電気自動車の推販を進めている。 全ての部拠点にAEDを設置している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	○	○	○	基本	・環境やウイルス対策を社内や地域貢献を目的に適時実施している。 職場、お客様スペース、接客などへの配慮。自治体へのウイルス患者の 搬送車を無償提供や募金の実施。こども110番。 ・職場の環境改善として、低騒音機器や洗車機、冷暖房への配慮、シート シャッタの設置。				4					9		11	12		14	15		17
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	○	○	○	応用	・栃木県、自治体との包括連携協定を締結し、年ごとにテーマを決め積極的 に実施している。 全社統一の社会貢献活動。ゴミ拾いの定期的な実施。河川ゴミ拾い(アクアCP)。				4							11			14	15		17
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	○		○	応用	・店舗建築の際は県産材を使用し、県内の優良な企業を主に取引。 ・栃木県で販売する水力発電(とちぎふるさと電気)を購入している。 ・栃木県の「いちご王国プロモーション推進事業に協賛。特産品の「いちご」 をPR。(いちご宣伝カーの提供、即売会の実施、他)								8	9		11	12	13				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している		○		基本	社内専用のイントラ、社内報、にて諸規定やルール、相談窓口を設け対応している。労務、環境、ハラスメントなどそれぞれの項目ごとに分類し社員向け研修を実施している。 一部、外部向けに店頭掲示、HP、機関誌などを使い広く宣言している。																16	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている			○	基本	基本理念、会社方針、社是・社訓を全部拠点に掲示し毎日の朝礼時に唱和している。 必要なものは必ず明文化し、社内報や社内イントラなどで共有を図っている。								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		○		応用	コンプライアンス対応方針や社内体制、対応フローなど、社内と外部機関にも設け漏れなく個別対応が迅速にできるよう整備している。 関連法令や評価表を一覧にし、適用・規制・状況届け出など準拠している。																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている		○		応用	環境マネジメント、BCP、ハラスメント、健康経営、相談など全てに体制を構築し、担当責任者を設けている。																16	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		○		応用	それぞれのCSR項目ごとに、全てのリスクマネジメントを徹底している。 BCPでは環境(水害・震災)リスクマップを作製し有事に備えた対応策を講じている。 労務では、労働安全管理者、衛生管理者、健康管理者を設け対応している。																16	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている		○		応用	当社は「CSR基本方針」をHPなどに掲げ、全てのステークホルダーを重視した事業活動を行い、地域環境、地域社会の持続可能な発展に貢献している。 上記内容は、定期的に社員教育と事例の共有を図っている。																16	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		○	○	応用	取引仕入先とは、公正取引委員会の指導(下請法)に準拠した基本契約のもと適正な取引を行い、定期的な情報共有、価格調整を行い下請事業者の利益保護に努めている。																16	17
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	○	○	○	応用	BCPを策定し、有事の備え、施設の整備、定期的な教育訓練を実施し万全な備えを実施している。 栃木県との「包括連携協定」を締結しグループ全体支援を行っている。また、「災害時応援協定」を締結し「災害時帰宅支援ステーション」として店舗を提供する。									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている			○	応用	大規模法人としての、事業継続および承継について対応済み。								8	9								17

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング															
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1																						
2																						
3																						
4																						

【記載留意事項】
・ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する場合は**赤字**で番号を記載しています。
（ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングの整数はＳＤＧｓのゴール（例：７）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。
なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度　など）